

令和3年度 第2回 夕張市学校運営協議会 議事録

記録者 夕張市学校運営協議会事務局長

- 1 開催日時 令和3年10月18日（月） 18:00～19:00
- 2 開催場所 拠点複合施設 りすた
- 3 出席者 市教委：神里、山口、箕浦
小学校部会：櫻井、西田、岩野、渡邊、立山校長、大脇教頭、飯塚教諭、中西教諭
中学校部会：松平、多喜、吉田、谷口、広島校長、酒井教頭、
佐々木教諭、畑山教諭
地域学校協働本部：鎌田コーディネーター
- 4 協議会 次第
 - (1) 開会の言葉
 - (2) 会長挨拶 夕張市学校運営協議会 会長 松平 雄二
 - (3) 各部会中間報告
 - ① 小学校部会
 - ② 中学校部会
 - (4) 夕張市内の学力状況について
 - (5) 質疑・応答
 - (6) その他
 - (7) 事務局から
 - (8) 閉会の言葉
- 5 協議会 概要（カッコ内の数字は次第の数字に準ずる）
 - (3) ① 小学校部会中間活動報告 （～資料説明～）
ファミスタの結果、学校評価について
 - ② 中学校部会中間活動報告 （～資料説明～）
ファミスタの結果、学校評価について、りすたの花植えについて
各部会長から発表し、補足を小、中の管理職が行った。

(4) 夕張市内の学力状況について

(全国学力・学習状況調査結果から)

◎小学校

国語 記述問題を不得手にしており、自分の考えを整理して説明する力が弱い。

複数の資料を見ながら、書かれている内容を理解して回答するところが弱い。

算数 式の意味や解答の仕方を説明することが不十分である。

「割合」の求め方や数量関係の理解が不十分である。

◎中学校

国語 「書くこと」の領域での定着度が低いことと、順序立てて説明する力が不十分である。内容を解釈して考えを広げたり、深めたりする力が弱い。

数学 「数と式」の領域での定着度が低い状況にある。整数の四則計算、少数が混じった四則計算、分数の四則計算などを計算する力に課題がある。

【夕張市の学力向上策】

- ・「ゆうばりっこ、学び育成プラン」に基づく取組の充実と検証・改善
- ・夕張市小中連携学力向上プロジェクト委員会による学力分析と改善方策の検討
- ・小中一貫した学びのスタンダードの徹底とCSと連携した補充的な学習の充実
- ・1人1台端末の効果的な活用を図るための教員の研修機会の充実

(6) その他

- ・小中が連携して、保護者・地域の方々が気軽に学校に足を運べる「毎日が授業参観日」のような体制の構築をしてはどうか？

⇒現段階で小学校は、特設の授業参観日もリモートで行っている状態なので難しいが、新型コロナウイルス感染症が落ち着いた状況になれば、可能になると考えている。

中学校では、すでに学校運営協議会会長やCS委員等が都合のつく時間帯で授業参観を行っている。学校は、基本的にいつでも来校してくださいというスタンスなので、足を運んで学校の様子を参観いただきたい。来年度に向けて夕張市学校運営協議会の取組のひとつとして前向きに検討していく。

- ・来年度からの夕張市学校運営協議会への参入に向けて、夕張市保育協会事務局長 藤原優介さん、ゆうばり丘の上こども園長 野尻知恵子さん、新夕張保育園長 鈴木理恵さん、沼ノ沢保育園長 波佐尾光枝さんにご出席いただきました。